



定光寺自然休養林 (じょうこうじ響の森)

〔愛知所〕定光寺自然休養林は昭和四十三年三月に設定され、愛知県瀬戸市北西部、岐阜県境に位置し、愛知高原国定公園（昭和四十五年十二月指定）内の庄内川沿い、標高五〇〇メートルから三二七メートルの丘陵地にあります。林相はスギ・ヒノキ・マツなど針葉樹の人工林と、シイ・カシなど広葉樹の自然林（天然林）により形成され、自然林（天然林）は、ツブラジイ、アラカシ、アカガシなどの巨木の下に、ヤブツバキ、ヤブニッケイ、サカキ、シキミなどの低木が茂り、地表にはベニシダ、ヤブソテツ等のシダ類がみられるなど、学術的にも貴重な暖帯性の広葉樹林とされています。

このような緑豊かな自然環境を背景に、都市近郊の自然休養林として、四季を通じて「日帰り」を主体とした利用者が賑わっています。

自然休養林となっており、休養林設定当初から、野営場、アーチェリー場、遊歩道、園地を順次整備し、その後昭和四十七年には、愛知県により「東海自然歩道」が六・七キロメートル整備され、自然休養林全体で約二十万人の年間利用者があります。

〈樹木見本林〉

約二ヘクタールの中に、外国樹種を含め七十五種の樹木があり、四季を通して観察ができて多くの利用者が活用しています。

〈遊歩道〉

休養林内には、二〇キロメートルを超える遊歩道が整備されており自由に散策ができるとともに、東海自然歩道も設置されています。

〈キャンプ場〉

自然林の中に、テントサイト・ケビン



キャンプ場



尾張徳川家の菩提所「定光寺」

を配置する総収容人員約三五〇人規模のキャンプ施設で、外部委託により運営されています。

〈アーチェリー場〉

昭和四十六年に公式コースとして整備した施設で、東海地方唯一のワールドアーチェリーコース。地域の愛好者や大学等のサークルを中心に利用されています。

〈定光寺〉

定光寺自然休養林の隣接地にあり、建武三年（一三三六年）に創建された臨済宗妙心寺派の古刹。山号は応夢山（おうむざん）。本尊は延命地藏願王菩薩（地藏菩薩）。尾張徳川家の菩提所で、初代徳川義直候はじめ歴代が納骨されています。本堂は創建当時の姿をとどめており、春は桜・秋は紅葉の名所としてもよく知られています。

◆所在地

愛知県瀬戸市川平町（瀬戸国有林）

◆アクセス

【公共交通機関】

J R中央線「定光寺駅」下車。休養林口まで徒歩約五分。

愛知環状鉄道「中水野駅」下車。休養林口まで徒歩約一〇分

【自家用車】

高速道路では東名「春日井IC」、中央道「多治見IC」、東海環状「せと品野IC」から県道名古屋多治見線（旧愛岐道路）に入り「城嶺橋東」交差点を名古屋方面からは右折、多治見方面からは左折。

一般道では、県道名古屋多治見線（旧愛岐道路）を通り、「城嶺橋東」交差点を名古屋方面からは右折、多治見方面からは左折。



遊歩道からの眺望（展望デッキ）